

登録No. S-077
 登録名 TCH療法
 催吐性リスク 高度
 適応疾患 乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	トラスツズマブ 生食	初回4mg/kg 2回目以降 2mg/kg 250mL/body		d1・8・ 15	d.i.v.	初回90minで忍容性良好であれば2回目以降30minまで短縮可	weeklyで6クール投与
Rp.2	パロノセトロンバック デキサメタゾン	50mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	アプレピタント併用
Rp.3	ドセタキセル 生食	75mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v.	1hr	粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyeに設定
Rp.4	カルボプラチン 生食	AUC6 250mL/body		d1	d.i.v.	1hr	
Rp.1	トラスツズマブ 生食	6mg/kg 250mL/body		d127	d.i.v.	30min	TCH3剤併用6クール後 Triweeklyで12クール投与

1クールの期間 3週間
 その他（副作用・PS規定等）

副作用： 倦怠感、下痢、月経不順、末梢神経障害、爪変形、好中球減少、血栓症、
 infusion reaction、アナフィラキシー様症状、心毒性
 ドーズダウン規定： CTCAEにより他のケモと同様
 文献： New England Journal of Medicine 2011;365:1273-83